

## 防災・減災の地山補強土 PAN WALL (パンウォール) 工法

土木学会技術評価 第0014号  
NETIS登録番号：CG-200016-A (河川PANWALL)  
NETIS登録番号：CB-170019-VE (VERTICAL PANWALL [活用促進技術])

## PAN WALL工法協会

〒461-0004 名古屋市東区葵3-19-7 矢作建設工業株式会社  
TEL 052-932-7344 FAX 052-935-2509  
URL <http://www.panwall.jp/>  
mail [panwall@yahagi.co.jp](mailto:panwall@yahagi.co.jp)

[資料請求先] 株式会社テクノサポート パンウォール事業部 (担当：今井)  
TEL 052-979-8808 FAX 052-935-2509  
会員の詳細はPAN WALL工法協会のホームページを参照のこと



道路の山側拡幅の例 (熊本県五木村内)  
勾配1:0.0 (垂直) 最大高16.9m



道路の谷側拡幅の例 (広島県広島市)  
勾配 1:0.4 最大高5.6m

### 概要

「PAN WALL工法」は、表面工にプレキャストコンクリート板を使用した地山補強土工法である。急勾配化(垂直～5分、3分標準)により工事に伴う影響範囲を低減し、安全な「逆巻き施工」を基本としている。また「順巻き施工」によって、ブロック積み擁壁などの既設構造物の補強や、現道を供用しながらの谷側拡幅工事にも活用ができる。

東北地方太平洋沖地震や熊本地震において変状は認められず、また、九州北部豪雨においても有害な全体変形は見受けられなかった。防災・減災・国土強靱化対策に貢献し、高速道路や自動車専用道路の拡幅、掘込河道等の護岸の新設や補強でも効果を発揮する。

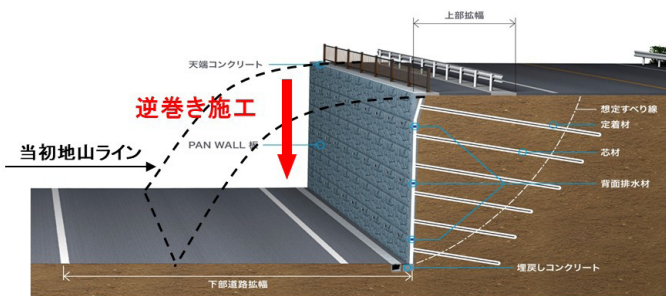
#### [適用条件]

- ・勾配：垂直～5分 (3分勾配を標準)
- ・高さ：原則20m程度 (安定計算による)
- ・土質：粘性土～硬岩
- ・その他：災害復旧、河川護岸、掘削土留め、塩害対策、凍上対策などに適用可能

#### [施工実績]

- ・全国 (北海道～沖縄) 1,175件以上
- ・面積 約354,000㎡以上

#### [概要図]



### 施工事例

#### 上部建物



切土断面(残土量)の低減、境界の保護



#### 本設土留、仮設



既設擁壁補強



### 既設擁壁補強事例(東北地方太平洋沖地震)

